

リガク代表に川上潤氏が就任

X線分析・測定・検査機器のトップメーカーである株式会社リガク（本社：東京都昭島市、以下「リガク」）は2023年1月31日付で代表取締役社長の池田俊幸氏が辞任することを発表した。後任には同社取締役の川上潤氏が就任する。グループ持株会社のリガク・ホールディングス株式会社においても、川上氏が代表取締役社長に就任する。

池田氏は1980年に株式会社日立製作所に入社し、株式会社日立ハイテクサイエンス代表取締役社長、株式会社日立ハイテク代表執行役専務及びCTOを経て、2020年4月にリガクに招聘され、カーライルによる出資を機に、2021年6月より代表取締役社長として当社の組織変革を推進してきたが、IPOに向けた体制整備や成長力強化に目途をつけたとして、かねてより希望していた社会貢献活動に取り組むべく退任する。

川上氏は1987年に日本ブーズ・アレン・アンド・ハミルトン株式会社に入社。その後日本ゼネラル・エレクトリック株式会社に移り、日本GEエンジンサービス株式会社の取締役、GE横河メディカルシステム株式会社の取締役副社長、GEヘルスケア・ジャパン株式会社の代表取締役社長兼CEOを歴任した。2017年7月にはアルテリア・ネットワークス株式会社の代表取締役社長CEOに就任し、翌年12月の同社の東証一部上場を成功裏に導いた。2020年よりカーライル・ジャパンのシニア・アドバイザーに就任し、2021年3月より当社取締役。

川上氏は「池田氏の下、リガクは2年連続で過去最高業績を更新すると共に、グローバル体制を強化してきました。伝統あるリガクの長期的な成長と発展に尽力して参ります」とコメントしました。

志村会長は「航空機エンジン、医療機器、情報通信等の幅広い分野で経営者として成功してきた川上氏をグループCEOに迎えることを嬉しく思います。川上氏のリーダーシップの下で、リガクが上場に向けて更なるグローバル成長目標を実現できるものと確信しております」とコメントしました。

また、カーライル・ジャパン副代表であり、当社の取締役でもある富岡氏は、「カーライル社としても、川上氏をトップとする新経営体制と当社の発展を全面的にサポートして行きます」とコメントしました。

リガクについて

1951年の創業以来、株式会社リガクはX線と熱分析をコア技術に持ち、分析機器と工業用機器の最先端技術を提供してきました。今日、リガクグループは、国内のみならず、アメリカ・ヨーロッパ・中国を始めとした世界各地の拠点をベースに、汎用X線回折（XRD）、薄膜分析（XRF、XRD、XRR）、蛍光X線分析（TXRF、EDXRF、WDXRF）、小角散乱分析（SAXS）、蛋白・低分子X線結晶構造解析、ラマン分光分析、X線光学素子、半導体検査（TXRF、XRF、XRD、XRR）、X線発生装置、CTスキャン、非破壊検査、熱分析の各分野において先進的な役割を担っています。X線とその周辺技術の膨大な知見を強みとして、お客様との協業関係を築き、学会や産業界を通して、グローバルにパートナーシップ、コミュニケーション、イノベーションを促進してきました。蛋白構造解析、ナノテク開発、汎用X線回折（XRD）、蛍光X線分析（XRF）、材料分析、品質保証を含む多種多様な分野に向けて、統合されたソリューションを今後も引き続き提供してまいります。

詳しくは、japan.rigaku.com/ja をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

本件に関するお問合せ先

リガク・ホールディングス株式会社

広報宣伝課 内匠 優理香

prad@rigaku.co.jp